

製品名: IFN21 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12389**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	IFNA21
別名	
遺伝子 ID	3452.0
SwissProt ID	P01568
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 1-80

背景

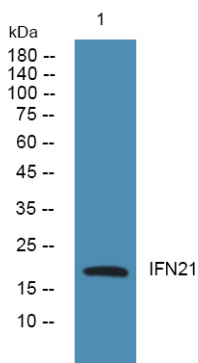
この遺伝子は、9番染色体短腕に位置する α インターフェロン遺伝子クラスターのメンバーです。インターフェロンは、ウイルス感染に反応して産生されるサイトカインであり、免疫応答を媒介し、ウイルスの複製を阻害します。コードされているタンパク質はI型イ

インターフェロンであり、風疹ウイルスに対する抗ウイルス応答において特定の役割を果たす可能性があります。[RefSeq提供、2011年9月],機能: マクロファージによって産生される IFN- α は抗ウイルス活性を有します。インターフェロンは、タンパク質キナーゼとオリゴアデニル酸合成酵素という2つの酵素の産生を刺激します。類似性: α/β インターフェロンファミリーに属します。 ,

研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;オートファジーの制御;抗原処理および提示;Toll_Like;RIG-I 様受容体;細胞質 DNA 感知経路;Jak_STAT;ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害性;自己免疫甲状腺疾患;

画像データ



SW480 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、IFN21 ウサギポリクローナル抗体を1:1000に希釈し、4°で一晩